

# 世界の大晦日

今年もあともう少し。

実は私、結婚する前はよく海外へ遊びに行っておりました。  
ちょうど10年前、私はアメリカのニューヨークで大晦日を過ごした  
経験があります。

ニューヨークの大晦日は、タイムズスクエアという  
繁華街(交差点)で、有名な歌手を集め音楽のイベントが  
行われておりました。

訪れた人は、歌手を一目みようとは時間も前から列を成し、  
途中トイレにも行けないからオムツを履いて参戦する  
お客さんもいたそうです。

日本でいう野外版某歌合戦といった感じでしょうか？  
別に競ってはなさそうでしたが。  
ちなみに私は列には並ばず、さっさと帰宅したら、  
ホームステイ先のおばさんに  
「あなたはなんて真面目なの！以前大晦日に来た日本人は夜中に  
帰ってきたわよ！」と言われました。  
いや、並ぶのが嫌だっただけです…。

さて、世界にはいろんな大晦日があるんだな～と思い出したところで、  
世界の大晦日を調べてみることにしました。

印象的だったのは、大晦日に花火をあげる国が意外にも多いこと。  
花火といえば、日本では夏の風物詩ですが、  
フランス、イギリス、デンマーク、タイ、台湾、フィリピン、シンガポールなどの国々では  
大晦日に盛大な花火をあげて新年を祝うそう。

それに伴って、パーティーやカウントダウンを家族や友人と楽しむ国が多いようですね～。

ちょっと面白いカウントダウンの過ごし方は、ブラジルです。  
7つの波を飛び越えて、7つの願い事を唱えるそうです。  
7つも願い事を考えていても、いざ唱える時に忘れそう。。。.  
ちょっと日本だと考えられないですね。南半球だからできるんだな…。

今年の大晦日はおそらく実家に帰っているの、実家の庭で夏にやり残した  
手持ち花火でもやろうかなと思います。  
打ち上げではないけど、子どもたちは喜びそうですし、プチ海外版大晦日を楽しもうと思います。

